

# 九州経済圏における木材の輸出

2017年輸出金額過去最高

シェア全国第1位



平成30年5月21日  
関税司 関

## 【はじめに】

日本国内の木材産出量は、木材価格の下落等により1960年代をピークに減少を続け、2000年代前半には約4分の1にまで落ち込みました。

しかし、近年は、木質バイオマス発電の燃料材や合板原料として国産材の需要が高まり、徐々に回復の兆しを見せ始めています。また、九州圏において「スギ」や「ヒノキ」などの充実した人工林資源を活用するため、輸出拡大への取組みを推進してきたことも回復の一因となっています。

今回は、九州圏における木材の輸出にスポットをあててみました。

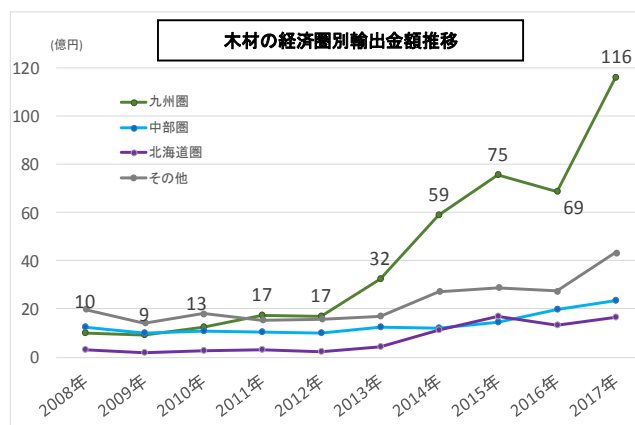
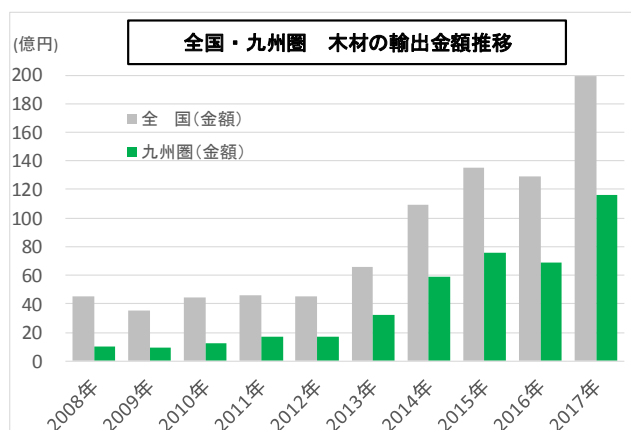


※本特集における「九州経済圏」（九州圏）は、福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、山口、沖縄の9県を合計したものです。

## 【輸出動向】

九州圏の木材の輸出実績をみると、2016年は円高や主要輸出国である中国の建設市場の低迷等により、やや減少したものの、2013年以降大幅な伸びをみせ、2017年の輸出額は116億円（対前年比68.2%増）と過去最高を記録しました。また、九州圏の全国シェアは約6割を占め、2010年以降8年連続で全国1位となっています。

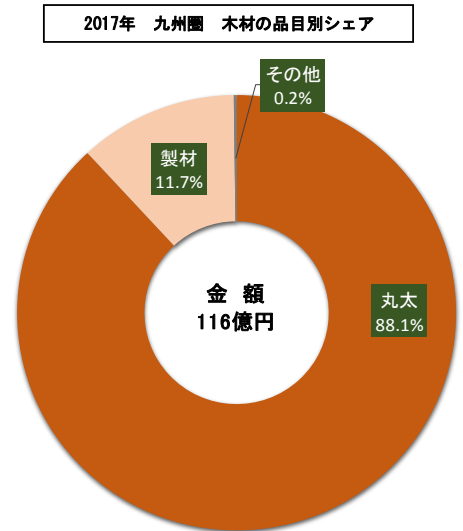
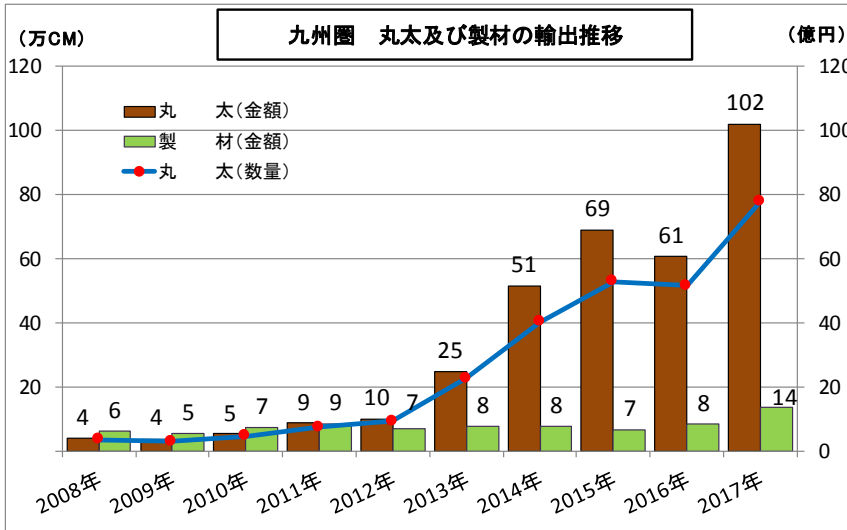
九州圏では、木材産業の競争力強化のため、森林組合や自治体が地域の枠組みを越え連携し、日本国内では需要の少ない大径材や低質な丸太の輸出促進への取組みを行ったことにより、木材の輸出が大幅に増加しています。



### 【九州圏 丸太及び製材の輸出推移】

九州圏の「丸太」と「製材」の輸出推移をみると、2010年までは、「製材」が「丸太」の輸出額を上回っていましたが、2011年以降は「丸太」の輸出額が大幅に増加し、2008年には数量で3万CM、金額で4億円であったものが、2017年には数量で78万CMと約22倍、金額で102億円と約27倍となっており、木材全体の輸出額の88.1%を「丸太」が占めています。

日本産の丸太は比較的安価で、建築用や梱包材用などあらゆる用途に利用可能なため、現状では製材よりも丸太の需要が高くなっているようです。

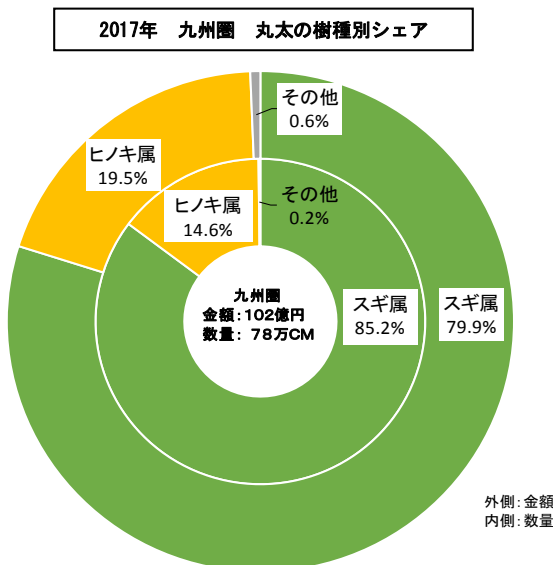


### 【九州圏 丸太の樹種別シェア】

九州圏の「丸太」の樹種別の輸出額シェアをみると、スギ属が81億円で全体の79.9%、ヒノキ属が20億円で19.5%となっています。

農林水産省の統計によると、2016年の都道府県別のスギの産出額は、宮崎県が第1位、熊本県が第3位、大分県が第4位と九州圏が上位を占め、全国の約4割を九州圏で産出しています。

また、九州圏の木材生産の樹種別内訳をみると、スギは80.3%、ヒノキは14.9%となっており、産出額と輸出額の樹種別の割合は相似していることが分かります。



都道府県別 産出額ランキング (2016年分)

単位: 1,000万円

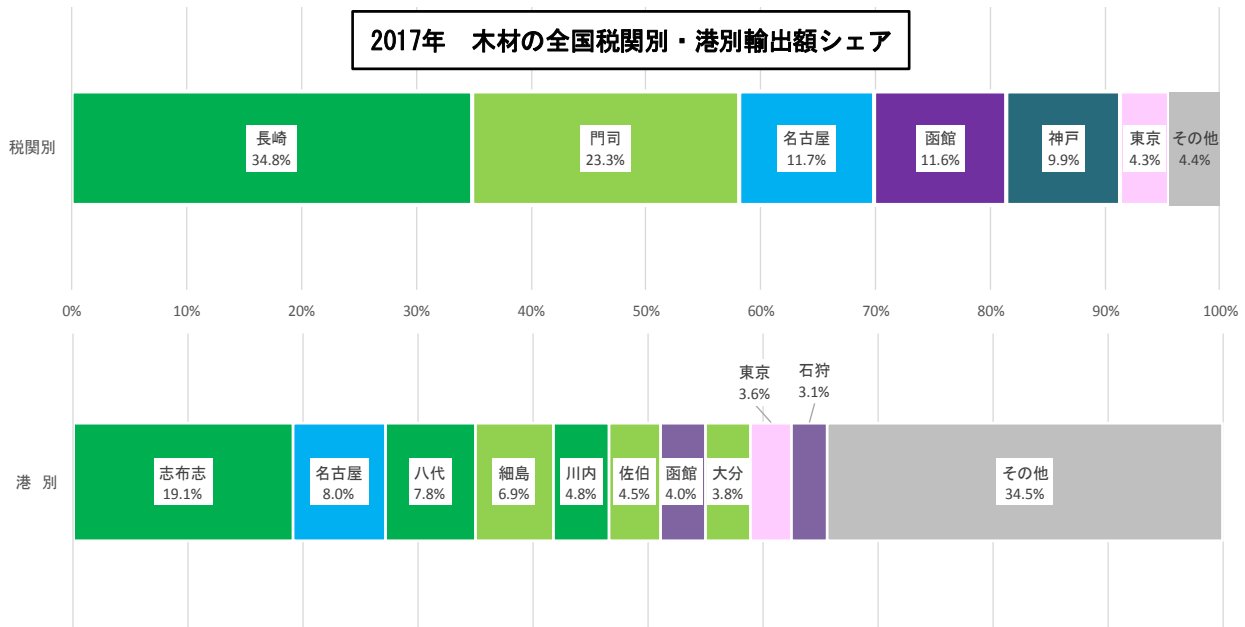
順位	すぎ			順位	ひのき				
	都道府県名	産出額	全国構成比		都道府県名	産出額	全国構成比		
1	宮崎県	1,993	17.1%	1	岡山県	397	11.1%		
2	秋田県	970	8.3%	2	熊本県	311	8.7%		
3	熊本県	952	8.2%	2	愛媛県	311	8.7%		
4	大分県	903	7.7%	4	高知県	268	7.5%		
5	岩手県	610	5.2%	5	岐阜県	234	6.5%		
九州圏			4,754	40.7%	九州圏			880	24.6%
全 国			11,674	100.0%	全 国			3,578	100.0%

(出典: 農林水産統計 平成28年林業産出額)

## 【全国税関別・港別輸出額シェア】

2017年の木材の税関別輸出額シェアをみると、第1位は長崎税関で34.8%（対前年比+62.1%）、第2位は門司税関で23.3%（対前年比+78.6%）、第3位は名古屋税関で11.7%（対前年比+18.7%）となっています。

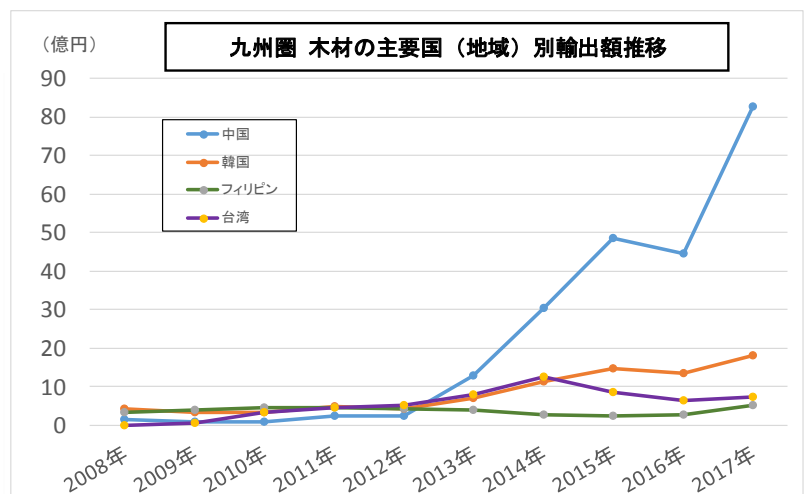
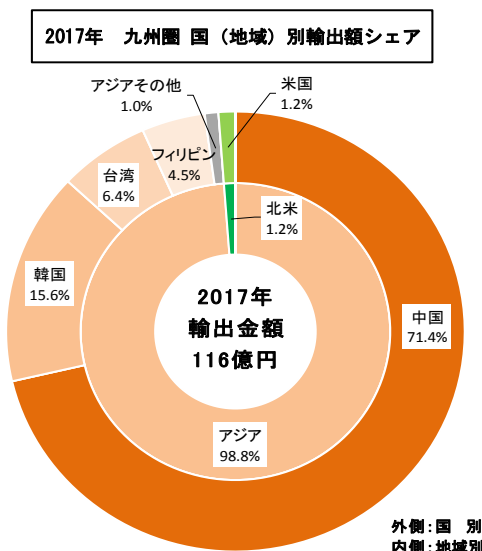
また全国の港別輸出額シェアは、第1位が志布志港で19.1%（対前年比+71.0%）、第2位が名古屋港で8.0%（対前年比+28.5%）、第3位が八代港で7.8%（対前年比+38.3%）となっており、上位10港のうち九州圏が6港を占めています。



## 【九州圏 国（地域）別輸出額】

九州圏における2017年の木材の地域別輸出額シェアをみると、アジアが98.8%を占めています。国別シェアの第1位は、中国で71.4%（対前年比+85.5%）、次いで韓国15.6%（対前年比+34.5%）、台湾6.4%（対前年比+15.1%）の順となっています。

日本産の木材は、アジアから地理的に近いため輸送コストが安く、またカビ等の発生による劣化も少ないことから需要が急増しています。特に中国では、森林保全のため商業ベースの天然林の伐採規制が強化されたこと等により木材の輸入ニーズが高まっており、建築用工材や梱包材の材料としての莫大な需要を取込む形で輸出が大幅に増加しています。



## 【おわりに】

政府は、国の成長戦略に「林業の成長産業化」の実現を掲げ様々な取組みを行っています。

また、日本の建築基準法にあたる、中国の「木構造設計標準」の本年8月の施行に伴い、現在は住宅の内装材までにはしか使用できない日本産木材のうち、スギ、ヒノキ、カラマツの3種類が構造材（柱や梁）に使用できることとなることから、更なる輸出拡大が期待されます。

このような追い風の中、業界によると、

- ・ 需要に応じ、安定して木材を輸出できる体制を整備すること
- ・ 丸太中心の輸出から、日本の誇る高い加工技術を活かした付加価値の高い製品の輸出促進に取り組むこと
- ・ 日本産木材の認知度向上のために、オールジャパンで取り組むこと

などが、輸出拡大の鍵になるとみています。

※本特集の「木材」は、概況品コード「20701：木材」（輸出統計品目番号 44.03～44.04 項、44.06 項～44.09 項に分類されるもの）を集計したものです。

※本特集の「丸太」は、輸出統計品目番号 44.03 項、「製材」は、概況品コード「2070101：製材」（輸出統計品目番号 44.06 項～44.09 項）を集計したものです。）

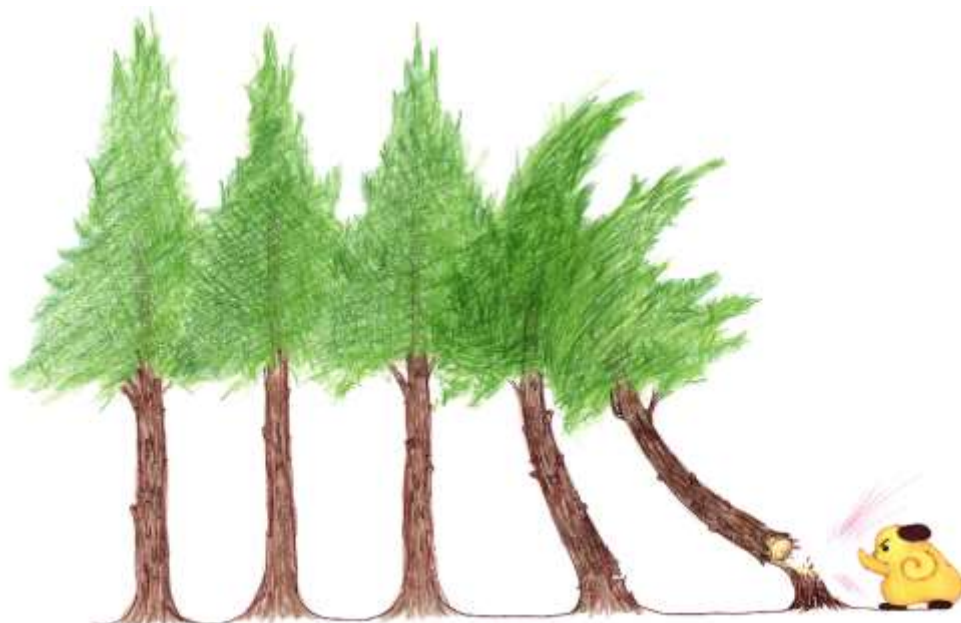
※本特集において、「過去最高」とは、検索が可能な 1979 年以降です。

※2008 年～2017 年の統計数値は確定値です。

※統計数量の CM とは、立法メートル（Cubic Meters）です。

※統計数値の単位未満は、四捨五入を行うため、総数の内訳の計が一致しない場合があります。

本資料を引用する場合は、門司税関の資料による旨を注記して下さい。  
本資料についてのお問い合わせはこちらまで  
門司税関 調査部 調査統計課  
TEL 050-3530-8380  
<http://www.customs.go.jp/moji/>



① 輸出推移（全国及び経済圏別）

年	全国		九州圏			中部圏		北海道圏		その他	
	金額（千円）	前年比	金額（千円）	前年比	全国比	金額（千円）	全国比	金額（千円）	全国比	金額（千円）	全国比
2008年（H20）	4,525,084	124.5%	984,480	167.8%	21.8%	1,259,327	27.8%	290,899	6.4%	1,990,378	44.0%
2009年（H21）	3,511,233	77.6%	913,589	92.8%	26.0%	998,059	28.4%	189,809	5.4%	1,409,776	40.2%
2010年（H22）	4,411,955	125.7%	1,264,574	138.4%	28.7%	1,075,687	24.4%	273,453	6.2%	1,798,241	40.8%
2011年（H23）	4,624,290	104.8%	1,716,320	135.7%	37.1%	1,058,706	22.9%	309,153	6.7%	1,540,111	33.3%
2012年（H24）	4,519,271	97.7%	1,693,740	98.7%	37.5%	1,018,946	22.5%	232,539	5.1%	1,574,046	34.8%
2013年（H25）	6,597,550	146.0%	3,232,814	190.9%	49.0%	1,231,610	18.7%	421,600	6.4%	1,711,526	25.9%
2014年（H26）	10,902,518	165.3%	5,892,238	182.3%	54.0%	1,190,322	10.9%	1,103,268	10.1%	2,716,690	24.9%
2015年（H27）	13,558,884	124.4%	7,545,833	128.1%	55.7%	1,443,811	10.6%	1,681,027	12.4%	2,888,213	21.3%
2016年（H28）	12,905,368	95.2%	6,884,383	91.2%	53.3%	1,962,787	15.2%	1,315,197	10.2%	2,743,001	21.3%
2017年（H29）	19,913,877	154.3%	11,579,764	168.2%	58.1%	2,330,681	11.7%	1,663,978	8.4%	4,339,454	21.8%

九州圏：福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、山口、沖縄の9県
中部圏：長野、岐阜、静岡、愛知、三重の5県
北海道圏：北海道

② 丸太及び製材の輸出推移（九州圏）

年	丸 太				製 材	
	数量（CM）		金額（千円）		金額（千円）	
		前年比		前年比		前年比
2008年（H20）	34,658	339.2%	373,270	192.5%	610,537	155.5%
2009年（H21）	29,707	85.7%	371,545	99.5%	542,044	88.8%
2010年（H22）	44,809	150.8%	524,781	141.2%	739,793	136.5%
2011年（H23）	73,623	164.3%	864,085	164.7%	852,235	115.2%
2012年（H24）	92,425	125.5%	995,235	115.2%	698,505	82.0%
2013年（H25）	225,841	244.4%	2,479,243	249.1%	753,571	107.9%
2014年（H26）	400,966	177.5%	5,135,226	207.1%	757,012	100.5%
2015年（H27）	528,501	131.8%	6,882,991	134.0%	662,842	87.6%
2016年（H28）	514,465	97.3%	6,050,783	87.9%	828,341	125.0%
2017年（H29）	776,442	150.9%	10,202,545	168.6%	1,353,416	163.4%

③ 2017年 品目別シェア（九州圏）

品 目	統計品目番号	金額（千円）		
			前年比	構成比
木 材	44.03～44.04項、 44.06～44.09項	11,579,764	168.2%	100.0%
	丸 太	10,202,545	168.6%	88.1%
	製 材	1,353,416	163.4%	11.7%
	その他	23,803	452.6%	0.2%

④ 2017年 丸太の樹種別シェア（九州圏）

品 目	統計品目番号	数量（CM）		金額（千円）	
			構成比		構成比
丸 太	44.03項	776,442	100.0%	10,202,545	100.0%
スギ属	4403.25-010、 4403.26-010	661,792	85.2%	8,148,585	79.9%
	4403.25-020、 4403.26-020	113,225	14.6%	1,988,583	19.5%
	その他	1,425	0.2%	65,377	0.6%

⑤ 2017年 全国税関別輸出金額シェア

税関	金額（千円）		
		前年比	全国比
全 国	19,913,877	154.3%	100.0%
長崎税関	6,939,917	162.1%	34.8%
門司税関	4,638,002	178.6%	23.3%
名古屋税関	2,330,681	118.7%	11.7%
函館税関	2,308,981	142.1%	11.6%
神戸税関	1,970,854	158.8%	9.9%
東京税関	846,943	119.5%	4.3%
その他	878,499	179.4%	4.4%

⑥ 2017年 全国港別輸出金額シェア

税関	金額（千円）		
		前年比	全国比
全 国	19,913,877	154.3%	100.0%
志布志港	3,813,121	171.0%	19.1%
名古屋港	1,589,285	128.5%	8.0%
八代港	1,558,253	138.3%	7.8%
細島港	1,364,803	182.1%	6.9%
川内港	955,893	226.8%	4.8%
佐伯港	890,446	184.4%	4.5%
函館港	787,231	187.7%	4.0%
大分港	763,365	254.4%	3.8%
東京港	716,456	122.0%	3.6%
石狩港	612,406	103.9%	3.1%
その他	6,862,618	144.1%	34.5%

⑦ 2017年 国（地域）別輸出金額シェア（九州圏）

国（地域）	金額（千円）		
		前年比	構成比
世 界	11,579,764	168.2%	100.0%
(アジア)	11,442,522	166.7%	98.8%
中華人民共和国	8,264,576	185.5%	71.4%
大韓民国	1,805,510	134.5%	15.6%
台湾	743,333	115.1%	6.4%
フィリピン	518,013	199.3%	4.5%
その他	111,090	70.1%	1.0%
(北米)	136,671	622.9%	1.2%
アメリカ合衆国	136,671	622.9%	1.2%
(その他)	571	256.1%	0.0%

⑧ 主要国別輸出推移（九州圏）

年	九州圏	中華人民共和国		大韓民国		台 湾		フィリピン		その他	
	金額（千円）	金額（千円）	構成比	金額（千円）	構成比	金額（千円）	構成比	金額（千円）	構成比	金額（千円）	構成比
2008年（H20）	984,480	158,216	16.1%	442,540	45.0%	2,552	0.3%	326,043	33.1%	55,129	5.6%
2009年（H21）	913,589	81,036	8.9%	336,422	36.8%	63,172	6.9%	393,751	43.1%	39,208	4.3%
2010年（H22）	1,264,574	98,171	7.8%	324,114	25.6%	323,172	25.6%	473,009	37.4%	46,108	3.6%
2011年（H23）	1,716,320	232,955	13.6%	501,152	29.2%	464,895	27.1%	456,166	26.6%	61,152	3.6%
2012年（H24）	1,693,740	243,669	14.4%	430,013	25.4%	516,772	30.5%	421,561	24.9%	81,725	4.8%
2013年（H25）	3,232,814	1,278,042	39.5%	700,243	21.7%	784,828	24.3%	400,111	12.4%	69,590	2.2%
2014年（H26）	5,892,238	3,046,814	51.7%	1,145,686	19.4%	1,263,997	21.5%	290,127	4.9%	145,614	2.5%
2015年（H27）	7,545,833	4,851,609	64.3%	1,477,983	19.6%	860,517	11.4%	235,531	3.1%	120,193	1.6%
2016年（H28）	6,884,383	4,455,759	64.7%	1,342,302	19.5%	645,790	9.4%	259,919	3.8%	180,613	2.6%
2017年（H29）	11,579,764	8,264,576	71.4%	1,805,510	15.6%	743,333	6.4%	518,013	4.5%	248,332	2.1%

